

外国語教育メディア学会 (LET)

The Japan Association for Language Education and Technology

第58回 (2018年度) 全国研究大会

The 58th Annual Conference

外国語教育における4技能評価の再考

Reconsidering Four-skill Assessment of Foreign Language Proficiency



主 催 外国語教育メディア学会 (LET)
後 援 文部科学省・大阪府教育委員会
期 日 2018年8月7日(火)～9日(木)
会 場 千里ライフサイエンスセンター
〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2
大会事務局 神戸学院大学 中西のりこ研究室内
〒650-8586 兵庫県神戸市中央区港島1-1-3
E-mail : let2018zenkoku@gmail.com

<http://www.j-let.org/let2018/home/>

ご挨拶

Fore words



外国語教育メディア学会会長 柳 善和 (名古屋学院大学)

第58回全国研究大会 (LET2018) の開催にあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

今年の大会テーマは「外国語教育における4技能評価の再考」と設定していただきました。大学入試で(あるいは、高校入試や中学校入試でも)英語のテストの実施形態、そしてその活用方法などについて社会全体が騒然としている中、私たちの学会で研究者や現場の教員が議論を重ねることは大いに意義のあることです。また同時に、スピーキングやライティングのテストで人工知能による自動採点が実現しつつあり、これについてもあちこちの展示会で次々に製品が発表されています。こちらも私たちの学会でぜひ取り扱っていききたい分野です。また、私たちが暮らす世界も境界線が曖昧になり、次に何が起こるか予測不能な様相になっています。1つの学会だけで議論するべき問題ではないかもしれませんが、そういう大きな問題にも関わる姿勢は大切であろうと考えています。

毎回の大会でもそうですが、今回の大会では3日間にわたって、ことさらそうそうたる顔ぶれの先生方に講演、シンポジウム、パネルディスカッションとご登壇をいただくことになりました。さらに多彩な自由研究発表のプログラムが加わり、出かけるのが楽しい大会です。また、毎年ご協力をいただいている賛助会員の皆様、展示を楽しみにしています。会場で熱く議論を交わして盛り上げたいと思います。

最後になりますが、今回の大会を開催するに当たりまして、1年間にわたり準備を進めてきていただいた、実行委員長の杉森直樹先生、大会委員長をお勤めの菅井康祐先生(関西支部支部長)、さらに大会事務局長をお勤めの中西のりこ先生をはじめとする関西支部の多くの先生方にお世話になっております。先生方に深く感謝いたします。どうもありがとうございました。

暑い夏に皆様とともに今年もまた全国研究大会を楽しみたいと思います。



左：杉森直樹 右：菅井康祐

LET第58回全国研究大会大会実行委員長

杉森直樹(立命館大学)

大会委員長・関西支部長

菅井康祐(近畿大学)

外国語教育メディア学会(LET)第58回全国研究大会の実行委員会を代表いたしまして皆様にご挨拶申し上げます。

今年度は関西支部担当で全国大会を開催させていただきますが、会場は大阪府の北部に位置し、大阪市を中心部や新大阪駅、伊丹空港からの交通の便もよい千里中央にある千里ライフサイエンスセンターとなります。この施設は、3年前に関西支部が全国大会を担当した際の会場としてすでにご存知の方も多いかと思いますが、一つのビルの中に会場がコンパクトにまとまっており、移動距離も短いという点で利便性が高く、周辺には各種店舗も充実しているなどの利点を考慮し、再度この会場で大会を開催することといたしました。前回と同様に多くの皆様にご参加頂けることを願っております。

今年度の大会では、「外国語教育における4技能評価の再考」というテーマで、講演、シンポジウム、パネルディスカッションを企画いたしました。また、研究発表やシンポジウム、展示等には多くの会員の皆様から申込を頂きまして有難うございました。皆様もご存じのように、現在、日本の外国語教育には大規模な変革が起きつつあり、その当事者である語学教員もそれへの対応を余儀なくされています。特に、英語の4技能試験の導入という大学入試改革の影響は様々な方面に及んでおり、世間の関心も高まっていることもあって様々な場で議論的的となっています。そのような状況の中で、外国語教育に携わる本学会としても、4技能の指導や評価という問題に関して、現状や課題を正しく把握するとともに、その意義や問題点を多角的に議論することを通じて、今後の英語教育変革の流れが正しい方向に向かうよう、学会としてのメッセージを発信していくことが重要であると考えられます。今回の大会ではこのテーマを中心として多くの成果が得られるような大会になればと思います。

最後になりましたが、今回の大会の開催には多くの方々からご支援、ご協力を頂きましたことに心より御礼申し上げます。至らぬ点もあるかとは思いますが、関西支部としてはできる限りの準備を行ってまいりましたので、ご理解を頂ければ幸いです。暑い時期での開催となりますが、今年度の大会が皆様にとって充実した大会になることを願っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

目次

Contents

全体スケジュール	Schedule Overview	2
プログラム	Program	4
(1) 8月7日(火)	(1) Tuesday, August 7	4
(2) 8月8日(水)	(2) Wednesday, August 8	6
(3) 8月9日(木)	(3) Thursday, August 9	18
会場平面図	Map	28
出展賛助会員一覧	Supporting Member Exhibits	29
発表要項集	Abstracts	31
(1) 講演	(1) Keynote Speeches	31
(2) シンポジウム・パネルディスカッション	(2) Symposium・Panel Discussion	39
(3) 研究発表・実践報告	(3) Oral Presentations	49
(4) 公募シンポジウム	(4) Symposia	175
(5) ポスター発表	(5) Poster Presentations	189
(6) 賛助会員デモンストレーション	(6) Supporting Member Demonstrations	207
実行委員一覧	Committee Members	219
賛助会員広告	Advertisements	221

全体スケジュール

Schedule Overview

8月7日(火) Tuesday, August 7

10:00-	各種委員会・支部長連絡会議 Committee Meetings & Chapter Presidents' Meeting
13:00-	理事会 National Directors' Meeting
13:30-14:50	講演1 Keynote Speech 1/石川 慎一郎 (p. 4, 32)
	ライフホール Life Hall
15:00-17:00	シンポジウム Symposium (p. 5, 40) パネリスト：山田 泰造・田中 十督・竹内 理 司会：溝畑 保之
	ライフホール Life Hall

8月8日(水) Wednesday, August 8

9:00	受付 Registration
	サイエンスホール Science Hall
9:00-16:40	賛助会員展示 Supporting Member Exhibits
	サイエンスホール Science Hall
9:30-9:50	開会行事 Opening Ceremony
	ライフホール Life Hall
9:50-11:10	講演2 Keynote Speech 2/荘島 宏二郎 (p. 7, 34)
	ライフホール Life Hall
11:20-12:00	総会・学会賞表彰 Annual General Meeting・LET Awards
	ライフホール Life Hall
13:00-16:25	研究発表・実践報告・公募シンポジウム Oral Presentations・Symposia 賛助会員デモンストレーション Supporting Member Demonstrations
①13:00-13:30	
②13:35-14:05	研究発表・実践報告：501・502・503・601・602・603 (p. 9)
③14:10-14:40	公募シンポジウム：ライフホール (p. 15)
④14:45-15:15	賛助会員デモンストレーション：604 (p. 8)
⑤15:20-15:50	(公募シンポジウムは13:00-14:40と14:45-16:25の2件)
⑥15:55-16:25	

13:30-14:40	ポスター発表コアタイム Poster Presentation Core Time (p. 16)
	サイエンスホール Science Hall
16:40-17:50	講演 3 Keynote Speech 3/Judy Noguchi (p. 17, 36)
	ライフホール Life Hall
18:00-20:00	懇親会 Conference Reception
	千里ルーム Senri Room

8月9日(木) Thursday, August 9

9:00	受付 Registration
	サイエンスホール Science Hall
9:00-15:50	賛助会員展示 Supporting Member Exhibits
	サイエンスホール Science Hall
9:30-12:55	研究発表・実践報告・公募シンポジウム Oral Presentations・Symposia
	賛助会員デモンストレーション Supporting Member Demonstrations
⑦10:00-10:30	研究発表・実践報告：501・502・503・601・602・603 (p. 20) 公募シンポジウム：ライフホール (p. 25) ⑨11:10-11:40 賛助会員デモンストレーション：604 (p. 19) ⑩11:45-12:15 (公募シンポジウムは9:30-11:10と11:15-12:55の2件) ⑪12:20-12:50
⑧10:35-11:05	
⑨11:10-11:40	
⑩11:45-12:15	
⑪12:20-12:50	
11:40-12:50	ポスター発表コアタイム Poster Presentation Core Time (p. 26)
	サイエンスホール Science Hall
13:50-15:50	パネルディスカッション Panel Discussion (p.27, 44)
	コーディネーター：柳瀬 陽介 パネリスト：亙理 陽一・松井 孝志・寺沢 拓敬
15:50-16:10	ライフホール Life Hall
	閉会行事 Closing Ceremony
15:50-16:10	ライフホール Life Hall

8 月 7 日 (火)

Tuesday August 7

10:00-

各種委員会・支部長連絡会議

Committee Meetings and Chapter Presidents' Meeting

13:00-

理事会

National Directors' Meeting

13:30-14:50

講演1 (ライフホール)

Keynote Speech 1 (Life Hall)

日本人英語学習者のL2発信技能：

学習者コーパスに基づくアジア圏国際比較の視点から32

石川 慎一郎 (神戸大学)

司会：杉森 直樹 (立命館大学)

L2習得に関して4技能の均衡的発達が重要であることは言を俟たないが、日本人の英語力については、発信技能(話す・書く)の著しい欠如が繰り返し指摘されている。しかし、ここで注目すべきは、「日本人は英語が書けない／話せない」といったわかりやすい言説が飛び交う一方で、日本人の英語産出の何が問題なのか、それはどの程度のもなのか、また、そうした問題は日本人に固有のものなのか、習熟度の上昇の中で解消されないのか、といった基本的な事実が必ずしも明らかになっていないことである。本講演では、アジア圏国際英語学習者コーパスICNALEの解析から見えてきた新たな事実を紹介し、問題の特定と今後の対応の方向性について考えたい。

15:00-17:00

シンポジウム (ライフホール)

Symposium (Life Hall)

大学入試改革：中等・高等教育の立場から40

パネリスト 山田 泰造 (文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室)

田中 十督 (西南学院中学校・高等学校)

竹内 理 (関西大学)

司会 溝畑 保之 (大阪府立鳳高等学校)

企画趣旨

2020年度から、現行の「大学センター試験」に代わり「大学入試共通テスト」が導入される。また、英語についてはさらに民間の試験の導入が検討されるなど、大学入試を取り巻く環境がとても大きく変わろうとしている。しかし、入試というのはただ受験者を選抜するだけではなく、初等・中等・高等教育へたいへん大きな影響を及ぼす。本シンポジウムでは、まず、山田氏に実際の制度設計にかかわられている立場から、現在進められようとしている変更の趣旨・意義などをご説明いただき、つぎに、中等教育の立場から田中氏、高等教育の立場から竹内氏に、大学入試にどのようなことが求められているかをお話しいただく。このシンポジウムが、われわれ外国語教育に携わるものが立場を超えて、外国語学習者のための大学入試の役割について考える機会になればと考えている。

(大会実行委員会)

8 月 8 日 (水)

Wednesday August 8

9:00-

受付 (サイエンスホール)

Registration (Science Hall)

9:00-16:40

賛助会員展示 (サイエンスホール)

Supporting Member Exhibits (Science Hall)

出展賛助会員一覧についてはp. 29をご覧ください。

A list of the exhibiting supporting members can be found on p. 29.

9:30-9:50

開会行事 (ライフホール)

Opening Ceremony (Life Hall)

司会 中西 のりこ (大会事務局長 神戸学院大学)

挨拶 柳 善和 (LET会長 名古屋学院大学)

杉森 直樹 (大会実行委員長 立命館大学)

Coordinator NAKANISHI Noriko (Conference Secretariat, Kobe Gakuin University)

Greetings YANAGI Yoshikazu (President of LET, Nagoya Gakuin University)

SUGIMORI Naoki (Conference Organizing Committee Chair,
Ritsumeikan University)

9:50-11:10

講演2 (ライフホール)

Keynote Speech 2 (Life Hall)

センター試験「英語」を偲ぶー統計的剖検ー34

荘島 宏二郎 (独立行政法人大学入試センター)

司会：山西 博之 (中央大学)

1990年に第1回「大学入試センター試験」が実施されて以来、約30年経った。センター試験は、再来年2020年1月に第31回目が実施されて幕を閉じ、2021年1月には第1回目の「大学入学共通テスト」が実施されることが決まっている。本講演は、終わりゆくセンター試験「英語(筆記)」と「リスニング」に焦点を当て、統計分析を通じて、両テストが「誰のための」「どのような」テストであったかについて示す。

11:20-12:00

総会・学会賞表彰 (ライフホール)

Annual General Meeting and LET Awards (Life Hall)

司会 尾関 修治 (LET事務局長 名古屋大学)

挨拶 柳 善和 (LET会長 名古屋学院大学)

Coordinator OZEKI Shuji (Secretariat of LET, Nagoya University)

Greetings YANAGI Yoshikazu (President of LET, Nagoya Gakuin University)

第2日：8月8日 Day 2：August 8th

賛助会員デモンストレーション Supporting Member Demonstrations

①13:00-13:30 ②13:35-14:05 ③14:10-14:40 ④14:45-15:15 ⑤15:20-15:50 ⑥15:55-16:25

604室 (Room 604)

- ①会話に特化したトレーニングアプリケーションと最新の活用事例の紹介 208
 Introducing MyET, application specialized for training conversation skill, and how it's used in universities, companies and cram schools.
 沼田 剛史(株式会社グローバルキャスト) NUMATA Tsuyoshi (Global cast.Inc G-TELP Japan)
- ②自立学習を支えるeラーニング教材～ALC NetAcademy NEXT～ 209
 ALC NetAcademy Next: E-learning System to Support Learners' Self-study
 高原 昌央(株式会社アルク) TAKAHARA Mao (ALC PRESS INC.)
- ③ライティング指導を効率的に-Criterion®のご案内- 210
 Introducing Criterion® Online Writing Evaluation
 山口 学(国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部) YAMAGUCHI Manabu (CIEE Japan)
- ④4技能統合を図った教科書 A Good Readシリーズの開発 211
 Development of A Good Read textbook series designed to integrate four English skills
 佐々木 顕彦(武庫川女子大学) SASAKI Akihiko (Mukogawa Women's University)
 山岡 浩一(関西大学) YAMAOKA Koichi (Kansai University)
 竹内 理(関西大学) TAKEUCHI Osamu (Kansai University)
- ⑤コビルド英英辞典の30年：「話す」「書く」を支援する学習辞典の変遷と最新版の特長 ... 212
 COBUILD 30th ANNIVERSARY: What the Updated 4.5 Billion-word Database Can Offer
 斉藤 智(株式会社桐原書店) SAITO Satoshi (KIRIHARA SHOTEN K.K.)
- ⑥普通教室での授業支援システム活用を可能にするOrchestration Systemの実証研究 213
 Experimental study of orchestration system enabling utilization of class support system at ordinary classroom
 中川 右也(鈴鹿享栄高校) NAKAGAWA Yuya (Suzuka Kyoei Educational Institution, Suzuka High School)

第2日：8月8日 Day 2 : August 8th

研究発表・実践報告・公募シンポジウム Oral Presentations・Symposia

①13:00-13:30 ②13:35-14:05 ③14:10-14:40 ④14:45-15:15 ⑤15:20-15:50 ⑥15:55-16:25

研究発表／Research Paper・実践報告／Application Report 501室 (Room 501)

- ①英語カラオケ用カタカナ・システムの開発と教育ツールとしての可能性 研 50
A new katakana system for better English Karaoke performance and its application to English education
湯舟 英一(東洋大学) YUBUNE Eiichi (Toyo University)
井上 高志((有)ビッグアップルカンパニー) INOUE Takashi (Big Apple Company Inc)
濱屋 宗人(株式会社 第一興商) HAMAYA Munehito (DAIICHI KOSHO CO.,LTD.)
- ②授業外協調学習支援ウェブ型アプリケーションを利用した英語反転授業 実 52
Flipped Learning Approach to a University EFL Course: Utilizing a Web-Based Application for Enhancing
Outside-of-Class Collaborative Learning
石川 保茂(京都外国語大学) ISHIKAWA Yasushige (Kyoto University of Foreign Studies)
坪田 康(京都工芸繊維大学) TSUBOTA Yasushi (Kyoto Institute of Technology)
近藤 睦美(京都外国語大学) KONDO Mutsumi (Kyoto University of Foreign Studies)
宇多 清二(株式会社内田洋行) UDA Seiji (UCHIDA YOKO CO., LTD.)
西山 康一(株式会社インフィニテック) NISHIYAMA Koichi (infinitec co.,ltd.)
- ③複合的学習メディアを活用した大学英語授業の試み 実 54
The implementation of multiple learning mediums in university English courses
深田 将揮(畿央大学) FUKADA Masaki (Kio University)
- ④モバイル機器用イタリア語学習アプリの開発の実践 実 56
Practices of Mobile Device Application Development for Italian Language Learning
井上 昭彦(京都外国語大学) INOUE Akihiko (Kyoto University of Foreign Studies)
堂浦 律子(京都外国語大学) DOURA Ritsuko (Kyoto University of Foreign Studies)
神谷 健一(大阪工業大学) KAMIYA Kenichi (Osaka Institute of Technology)
- ⑤ビデオ撮影と音声認識によるリフレクション 実 58
Self-reflection through video shooting and speech recognition
岩居 弘樹(大阪大学) IWAI Hiroki (Osaka University)

502室 (Room 502)

- ①意見文を評価するモジュール型ルーブリック活用の教育的意義の検討～操作的に定義した「評価観点」と具体的に記述した「評価基準」の可能性～ 実 …………… 60
 Development of Writing Assessment Rubric for Argumentative Essay: The Influence of New-formulated Criteria and Well-defined Descriptors on Students Learning
 辻 香代(京都大学) TSUJI Kayo (Kyoto University)
- ②日本人英語学習者による機械翻訳を使用したライティングプロセス 研 …………… 62
 Japanese EFL Learners' Writing Processes with Machine Translation
 西山 幹枝(東京医療保健大学) NISHIYAMA Mikie (Tokyo Healthcare University)
 松田 紀子(藍野大学) MATSUDA Noriko (Aino University)
 青田 庄真(筑波大学) AOTA Shoma (University of Tsukuba)
- ③自律学習を育むライティング使用語彙を分析するシステムの開発 実 …………… 64
 Development of the Online System for Analyzing Learners' Vocabulary Used in English Compositions for the Purpose of Developing Autonomous Learning Skills
 久島 智津子(津田塾大学) KUSHIMA Chizuko (Tsuda University)
- ④ライティング自動評価システムを活用したライティング指導—縦断的学習者コーパスの構築にむけて— 研 …………… 66
 Writing Instruction Using an Online Writing Evaluation Service: Constructing a Longitudinal Learner Corpus
 杉浦 正利(名古屋大学) SUGIURA Masatoshi (Nagoya University)
 西村 嘉人(名古屋大学) NISHIMURA Yoshito (Nagoya University)
 阿部 大輔(中部大学) ABE Daisuke (Chubu University)
- ⑤L2ライティング評価における複雑性指標の構成概念妥当性の検証 研 …………… 68
 Verification of Construct Validity of Complexity Indices in L2 Writing Evaluation
 加藤 剛史(筑波大学) KATO Takeshi (University of Tsukuba)

- ⑥EFL環境におけるオンライン協働ライティング：データ可視化ツールとインタビューの混合法からみる学習者の協働ライティングに対する受容の変化 実 70

Online Collaborative writing in the EFL environment: Learners' perception and its change using data visualization tools and interviews as mixed methods research

橋本 健広(関東学院大学)

HASHIMOTO Takehiro (Kanto Gakuin University)

佐藤 健(東京農工大学)

SATO Takeshi (Tokyo University of Agriculture and Technology)

503室 (Room 503)

- ①教室ベース音声知覚トレーニングが日本語母語英語学習者の英語子音の発音へ及ぼす効果 研 72

The Effects of Classroom-Based Perceptual Training on the Pronunciation of English Consonants for Japanese EFL Learners

上田 瑠璃(大阪教育大学)

UEDA Ruri (Osaka Kyoiku University)

②発表キャンセル

- ③L2英語学習者の定型・非定型表現の知識に英文の音読学習が与える影響—習熟度の異なる学習者の比較— 研 74

The Effect of An Oral Sentence Reading Training on Formulaic and Non-Formulaic Sequence Knowledge in L2 Mental Lexicon: A Comparison of Japanese EFL Learners with Different Proficiency Levels of English

西村 浩子(関西学院大学)

NISHIMURA Hiroko (Kwansei Gakuin University)

- ④発音指導と発音記号：辞書使用の諸問題 研 76

Pronunciation Teaching and Phonetic Symbols in English Dictionaries

河内山 真理(関西国際大学)

KOUCHIYAMA Mari (Kansai University of International Studies)

有本 純(関西国際大学)

ARIMOTO Jun (Kansai University of International Studies)

- ⑤HVPT による音素の識別率推移と調音への影響 研 78

Influence of HVPT on perception and production of English phonemes

飯野 厚(法政大学)

IINO Atsushi (Hosei University)

⑥海外連携による外国語学習における反転学習の実践と課題 実 80

Practice and Issues of Flipping Learning with Overseas University in English Learning

安部 由美子(広島工業大学)	ABE Yumiko (Hiroshima Institute of Technology)
HOOD Michael(日本大学)	HOOD Michael (Nihon University)
ELWOOD James(明治大学)	ELWOOD James (Meiji University)
益子 行弘(浦和大学)	MASHIKO Yukihiro (Urawa University)

601室 (Room 601)

①Automated Measures of L2 Writing Proficiency 研 82

L2執筆能力の自動化された尺度

APPEL Randy(早稲田大学)	APPEL Randy (Waseda University)
--------------------	---------------------------------

②Can cooperative learning contribute to active learning in ELT at secondary education? 研 ... 84

中・高等学校の英語指導におけるアクティブラーニングに協同学習はどう係れるか

宮迫 靖静(福岡教育大学)	MIYASAKO Nobuyoshi (University of Teacher Education Fukuoka)
---------------	--

③Student perspectives on classroom-based assessment 研 86

教室活動と評価方法：学生の視点

GROGAN Myles(関西大学)	GROGAN Myles (Kansai University)
--------------------	----------------------------------

④Deep Positivity Hypothesis: An interdisciplinary model on the varieties of emotion and cognition and its experimental verification in the context of L2 lexical memory 研 88

ディープ・ポジビティ仮説：情動と認知の多様性についての学際的モデルと第二言語語彙記憶の文脈におけるその実験的検証

金澤 佑(関西学院大学)	KANAZAWA Yu (Kwansei Gakuin University)
--------------	---

⑤Using WordPress as a Lesson Study Application 研 90

授業研究のアプリとしてワードプレスの活用

TOWNSEND Simon(インターサット)	TOWNSEND Simon (Intersat)
HALL James(岩手大学)	HALL James (Iwate University)

602室 (Room 602)

- ①即興スピーチ改善への一考察 研 92
 A study of delivering a better impromptu speech
 柏木 哲也(北九州市立大学) KASHIWAGI Tetsuya (The University of Kitakyushu)
- ②初級学習者のための英語ディベート教育の現状と課題:「シンプル・ディベート」の実践を通して 実 ... 94
 The Current Situation and Issues on the English Debate Instruction for Beginner-Level Learners:
 Through the Partial Practice of “Simplified Debate”
 橋尾 晋平(同志社大学) HASHIO Shimpei (Doshisha University)
- ③創造的な映像制作授業におけるEMIの実践と評価 実 96
 Evaluation of EMI in creative media production class
 保崎 則雄(早稲田大学) HOZAKI Norio (Waseda University)
- ④4技能統合型時代に逆向き設計で組み立てる学習意欲を高める活動とフィードバック 実 98
 Activities and feedback for drawing learning motivation in 4-skill-integrated class with backward
 design
 下山 幸成(東洋学園大学) SHIMOYAMA Yukinari (Toyo Gakuen University)
- ⑤英語初級レベルの日本人大学生へのVisual-Auditory Shadowingを用いた指導効果～リスニ
 ング力と自己効力感の観点から～ 実 100
 The Effect of Visual-Auditory Shadowing for Low-Proficiency Learners of English ~From Aspects of
 Listening Proficiency and Self-Efficacy~
 新本 庄悟(関西大学) NIIMOTO Shogo (Kansai University)
- ⑥音声変形技術を用いたHVTとそれに基づくリスニングの頑健化 研 102
 Technology-based high variability training and its use to improve robustness of listening
 峯松 信明(東京大学) MINEMATSU Nobuaki (The University of Tokyo)
 山内 豊(創価大学) YAMAUCHI Yutaka (Soka University)

603室 (Room 603)

- ①外国語教育の成果指標にみる教育振興基本計画の「参酌」：都道府県・市区町村に対する全国質問紙調査の結果をもとに 研 104
 What Does "Referring" in the "Basic Plan for the Promotion of Education" Mean in Terms of Achievement Indicators for Foreign Language Education? : Based on a Nationwide Questionnaire Survey of Prefectural and Municipal Governments in Japan
 青田 庄真(筑波大学) AOTA Shoma (University of Tsukuba)
- ②資格試験対策講座の学習者の主観的困難点：eポートフォリオと振り返りシートを活用した情報採取と対処 研 106
 Subjective Difficulties in Language Acquisition of Japanese Learners of English: E-portfolio Reflection Sheet Comments about Listening and Reading Tests
 吉村 愛子(名古屋大学) YOSHIMURA Aiko (Nagoya University)
- ③高専におけるCLIL授業の教材開発：中国・四国からの発信 実 108
 Material Development in CLIL Class for Technical Colleges in Chugoku and Shikoku Districts
 高橋 昌由(大阪成蹊大学) TAKAHASHI Masayuki (Osaka Seikei University)
- ④小学生のための英語学習支援サイトの開発—DDLの普及を目指して— 研 110
 Development of an English Learning Support Website for Elementary School Students—Toward the Promotion of DDL—
 西垣 知佳子(千葉大学) NISHIGAKI Chikako (Chiba University)
 石井 雄隆(早稲田大学) ISHII Yutaka (Waseda University)
 物井 尚子(千葉大学) MONOI Naoko (Chiba University)
 赤瀬川 史朗(Lago言語研究所) AKASEGAWA Shiro (Lago Institute of Language)
 中條 清美(日本大学) CHUJO Kiyomi (Nihon University)
- ⑤小学校5・6年生用デジタル英語教材が大学生の英語力に及ぼす効果 研 112
 Effects of Computer-Based English Teaching Materials for Elementary School Fifth and Sixth Graders on University Students' English Proficiency
 長谷川 修治(植草学園大学) HASEGAWA Shuji (Uekusa Gakuen University)

①13:00-13:30 ②13:35-14:05 ③14:10-14:40 ④14:45-15:15 ⑤15:20-15:50 ⑥15:55-16:25

研…研究発表 実…実践報告

⑥グローバルな医師を育てるeラーニング 研 114

E-learning for global doctors

川越 栄子(神戸女学院大学)

KAWAGOE Eiko (Kobe College)

公募シンポジウム／Symposia

ライフホール (Life Hall)

公募シンポジウム1／Symposium 1 13:00-14:40

eポートフォリオを活用した英語の効果的な学習モデルの構築とその評価 176

Building and assessing an ePortfolio-based EFL learning model

榎田 一路(広島大学)

ENOKIDA Kazumichi (Hiroshima University)

鬼田 崇作(広島大学)

KIDA Shusaku (Hiroshima University)

阪上 辰也(広島大学)

SAKAUE Tatsuya (Hiroshima University)

森田 光宏(広島大学)

MORITA Mitsuhiro (Hiroshima University)

公募シンポジウム2／Symposium 2 14:45-16:25

適切な英語指導と不適切な英語指導 — 日本人学習者の英語力の向上と次の若い世代のための英語教育を成功させるために — 178

Dos and Don'ts for Developing Japanese EFL Learners' English Ability and Making English Education for the Next Younger Generation Successful

鈴木 寿一(桃山学院教育大学)

SUZUKI Juichi (St. Andrew's University of Education)

安木 真一(京都外国語大学・短期大学)

YASUGI Shinichi (Kyoto University of Foreign Studies / Kyoto Junior College of Foreign Languages)

戸田 行彦(滋賀県立守山中学校・高等学校)

TODA Yukihiko (Shiga Prefectural Moriyama Junior & Senior High School)

第2日：8月8日 Day 2：August 8th

ポスター発表 Poster Presentations

ポスター掲示 9:00-17:00／コアタイム(質疑応答) 13:30-14:40

サイエンスホール (Science Hall)

Adult EFL Learners' Ability to Form Sentence with Be Verb — A Survey at Elementary to Pre-Intermediate Levels 190

EFL初中級学習者のBE動詞を含む文の産出能力調査

川崎 真理子(関西学院大学)

KAWASAKI Mariko (Kwansei Gakuin University)

航空英語におけるスピーキング能力向上を目指した指導 192

Seeking effective methods to help develop Aviation English speaking proficiency

縄田 義直(航空大学校)

NAWATA Yoshinao (Civil Aviation College)

英語苦手意識減少と英語授業改善に向けての取り組み--高専学生の英語学習に対するピリーフ理解からの考察-- 194

An attempt to analyze and understand Kosen students' belief in English learning aiming for improving students' ability

水野 知津子(明石高等専門学校)

MIZUNO Chizuko (National Institute of Technology, Akashi College)

テキストチャットにおけるナレーションタスクがライティングに及ぼす影響 196

How narration tasks in text chat affect writing

高瀬 奈美(名古屋大学)

TAKASE Nami (Nagoya University)

16:40-17:50

講演3 (ライフホール)

Keynote Speech 3 (Life Hall)

Sustainability of EFL teaching: EFL教育の持続可能性36

NOGUCHI Judy (神戸学院大学名誉教授)

司会：野村 和宏 (神戸市外国語大学)

Advancements in AI (artificial intelligence) herald a new age for machine translation with even translation apps for smartphones. In the face of such developments, how can ELF teaching remain relevant in tertiary education for the digital-native Generation Z students that we are teaching today? Focusing on the fine points of grammar or insisting on translation in order to understand a text is not realistic as the world welcomes various forms of ELF (English as a lingua franca). Does this mean that we need to shift to CLIL (Content and Language Integrated Learning) or EMI (English Medium Instruction)? If so, we need to recognize what we might be sacrificing by embracing the concepts of education represented by these approaches. One recent development to note is the announcement of new CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) descriptors, which have shifted from the traditional four skills to emphasizing communication by targeting the four areas of reception, production, interaction and mediation. Placing the emphasis on communicative language competence is the key to what EFL teaching can offer in tertiary education without stamping out diversity of learning styles. Concepts of discourse communities that share information and construct knowledge through genres, or communication events, will be presented as ways to offer relevant and sustainable EFL teaching for Generation Z students who must face the unknown challenges of the 21st century.

18:00-20:00

懇親会 (千里ルーム)

Conference Reception (Senri Room)

8 月 9 日 (木)

Thursday August 9

9:00-

受付 (サイエンスホール)

Registration (Science Hall)

9:00-15:50

賛助会員展示 (サイエンスホール)

Supporting Member Exhibits (Science Hall)

出展賛助会員一覧についてはp. 29をご覧ください。

A list of the exhibiting supporting members can be found on p. 29.

第3日：8月9日 Day 3：August 9th

賛助会員デモンストレーション Supporting Member Demonstrations

⑦10:00-10:30 ⑧10:35-11:05 ⑨11:10-11:40 ⑩11:45-12:15 ⑪12:20-12:50

604室 (Room 604)

- ⑦アクティブラーニングで「英語4技能」を徹底強化..... 214
 Active Learning Support Systems for Improving Four Essential English Language Skills
 下津 陽介(チエル株式会社) SHIMOTSU Yosuke (CHleru Co.,Ltd.)
- ⑧ユーザビリティを柱とした電子辞書の機能強化を目指して—「辞書」から「デジタル学習ツール」へ..... 215
 Aiming at Further Development of Electronic Dictionary by Mainly Considering Learners' Usability
 カシオ計算機株式会社 / 株式会社 三修社 CASIO COMPUTER CO., LTD. / SANSHUSHA Publishing Co., Ltd
 竹内 理(関西大学) TAKEUCHI Osamu (Kansai University)
- ⑨TOEIC® Speaking & Writing Tests..... 216
 TOEIC® Speaking & Writing Tests
 田崎 至教(一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会)
 TASAKI Yukinori (The Institute for International Business Communication)
- ⑩英語四技能の育成と測定に関する内田洋行の取り組み..... 217
 Introduction of Learning Products and Assessment Scoring System for English 4 skills
 須藤 綾子(株式会社内田洋行) SUTO Ayako (UCHIDA YOKO CO.,LTD.)
- ⑪大学留学プログラム・海外研修への英語ICT教材活用のご紹介..... 218
 Introduction of Reallyenglish new e-learning for overseas study preparation
 大竹 俊哉(リアリーイングリッシュ学校営業部) OTAKE Toshiya (Reallyenglish)

第3日：8月9日 Day 3：August 9th

研究発表・実践報告・公募シンポジウム Oral Presentations・Symposia

⑦10:00-10:30 ⑧10:35-11:05 ⑨11:10-11:40 ⑩11:45-12:15 ⑪12:20-12:50

研究発表／Research Paper・実践報告／Application Report 501室 (Room 501)

- ⑦小学校外国語(英語)教育における授業づくり—デジタル教材を活用して 研 116
Teaching English in Elementary School - Utilizing Digital Teaching Materials
高橋 美由紀(愛知教育大学) TAKAHASHI Miyuki (Aichi University of Education)
- ⑧マルチメディアが外国語学習者のイメージ・スキーマ形成に及ぼす影響 研 118
The Effect of Multimedia Use on Language Learner's Image Schema Formation
李 相穆(九州大学) LEE Sangmok (Kyushu University)
- ⑨大学生英語学習者は「なにを使い」「どのように」言語情報を入手しているのか 研 120
What and how do Japanese college students obtain necessary information about unknown words?
小山 敏子(大阪大谷大学) KOYAMA Toshiko (Osaka Ohtani University)
藪越 知子(日本大学) YABUKOSHI Tomoko (Nihon University)
- ⑩最新TTS合成音声の外国語教育現場での活用 実 122
Application of Latest TTS Technology to Language Teaching Activities
東 淳一(神戸学院大学) AZUMA Junichi (Kobe Gakuin University)
- ⑪VRと人型ロボットを用いた医学英語教材作成の取り組み 実 124
Creating Medical English Materials Using VR and Communication Robot
坂本 洋子(獨協医科大学) SAKAMOTO Yoko (Dokkyo Medical University)
坂田 信裕(獨協医科大学) SAKATA Nobuhiro (Dokkyo Medical University)

502室 (Room 502)

- ⑦教育用例文コーパスSCoRE第4次開発版の公開—開発と授業での活用— 研 126
 The New Release of the Fourth Phase of Development of the Sentence Corpus of Remedial English (SCoRE) -Its Development and EFL Classroom Applications-
 中條 清美(日本大学) CHUJO Kiyomi (Nihon University)
 西垣 知佳子(千葉大学) NISHIGAKI Chikako (Chiba University)
 赤瀬川 史朗(Lago言語研究所) AKASEGAWA Shiro (Lago Institute of Language)
- ⑧ライティング授業におけるブレンディッド・ラーニングの実践と心理的効果 実 128
 Effects of Blended Learning on Student Attitudes toward English Writing Skills
 小屋 多恵子(法政大学) KOYA Taeko (Hosei University)
- ⑨アカデミックライティングにおける能動態の使用について—工学系英語学術論文を分析対象として 研 130
 The Use of Active Voice in Academic Writing — Focusing on the Articles in the Field of Engineering
 奥山 慶洋(白鷗大学) OKUYAMA Yasuhiro (Hakuoh University)
- ⑩エッセイライティングの自動評定と統語的複雑さの関係—ネットワーク分析による検討— 研 ... 132
 The relation of syntactic complexity to automated essay scoring: Employing network analysis
 西村 嘉人(名古屋大学) NISHIMURA Yoshito (Nagoya University)
- ⑪日本人英語学習者が産出する英語関係節の量的・質的分析 研 134
 Quantitative and Qualitative Analysis of Production of English Relative Clauses by Japanese EFL Learners
 阪上 辰也(広島大学) SAKAUE Tatsuya (Hiroshima University)

503室 (Room 503)

- ⑦学習経験による英文和訳の違いから見てきたものとは —外国人留学生と日本人の比較を通じて— 研 136
 English-Japanese translations and learning experiences -from comparing translations between foreign and Japanese students-
 黒川 智史(東京大学) KUROKAWA Satoshi (The University of Tokyo)

⑦10:00-10:30 ⑧10:35-11:05 ⑨11:10-11:40 ⑩11:45-12:15 ⑪12:20-12:50

研…研究発表 実…実践報告

⑧丁寧な依頼文ではない*please*文:—ドラマにおける使用例の分析— 研 138

Please-sentences, not polite requests: Analysis of the examples from TV series

松井 夏津紀(京都外国語大学)

MATSUI Natsuki (Kyoto University of Foreign Studies)

⑨語彙学習モニタリングのための、頻度順Yes/No チェックリスト・テスト活用 実 140

Monitoring Learners' Progress in Vocabulary Learning through Frequency-based Yes/No Checklist Tests

西川 純恵(日本医科大学)

NISHIKAWA Sumie (Nippon Medical School)

⑩語彙学習意欲を促進する語彙力診断テストの開発に向けた基礎研究:三種のテスト形式の比較を通して 研 142

Fundamental study for the development of vocabulary diagnostic tests which motivate the learners to expand their vocabulary: A comparison of three test formats

竹蓋 順子(千葉大学)

TAKEFUTA Junko (Chiba University)

阿佐 宏一郎(文京学院大学)

ASA Koichiro (Bunkyo Gakuin University)

与那覇 信恵(文京学院大学)

YONAHA Nobue (Bunkyo Gakuin University)

⑪CBTによる日本語学習者の口頭能力測定 実 144

Assessment of Japanese Speaking Proficiency by Computer Based Test

世良 時子(成蹊大学)

SERA Tokiko (Seikei University)

601室 (Room 601)

⑦Influences of an eTandem Online International Video Chat on Japanese University Students Taking an English Teacher Training Course 研 146

海外との言語交換によるオンライン・ビデオチャットが英語科教職課程履修中の日本人大学生に及ぼす影響

小西 正恵(津田塾大学)

KONISHI Masae (Tsuda University)

⑧発表キャンセル

⑨The Role of Visual Information in the Teaching of English Pronunciation: A Focus on Chinese EFL Learners 研 150

英語音声指導における視覚情報の役割—中国人EFL学習者を焦点に当てて—

陳 斯童(京都大学)

CHINN Shidou (Kyoto University)

⑩オンライン英語論文執筆サポートツールはどのような学習者が効果的と考えるのか 研 152

Who benefits from an online support tool for writing research articles

水本 篤(関西大学)

MIZUMOTO Atsushi (Kansai University)

602室 (Room 602)

⑦コーパス検索と著作権 研 154

Corpus Search Engine and Copyright

田淵 龍二(ミント音声教育研究所)

TABUCHI Ryuji (Mint Phonetics Education Institute)

⑧スマートフォンでスピーキング活動を記録及び評価するMoodleプラグインの開発とその活用 実 ... 156

Updates on Audio/Video Recording Moodle Mobile Plug-ins for Speaking Development

熊井 信弘(学習院大学)

KUMAI Nobuhiro (Gakushuin University)

⑨L2リスニングトレーニングの学習効果を予測するワーキングメモリとは 研 158

Working Memory Capacity as the Best Predictor of Future Learning Potential for L2 Listening

梶浦 真由美(名古屋大学)

KAJIURA Mayumi (Nagoya University)

于 劭贊(名古屋大学)

YU Shaoyun (Nagoya University)

木下 徹(名古屋大学)

KINOSHITA Toru (Nagoya University)

⑩継続的なシャドーイング訓練が総合的熟達力の伸張に及ぼす影響 研 160

Effects of continuous shadowing training on overall proficiency improvement of Japanese EFL learners

山内 豊(創価大学)

YAMAUCHI Yutaka (Soka University)

伊藤 佳世子(高野山大学)

ITO Kayoko (Koyasan University)

峯松 信明(東京大学)

MINEMATSU Nobuaki (The University of Tokyo)

坪田 康(京都工芸繊維大学)

TSUBOTA Yasushi (Kyoto Institute of Technology)

西川 恵(東海大学)

NISHIKAWA Megumi (Tokai University)

⑪母語話者シャドーイングによる「聞き取りやすさ」の客観的計測 研 162

Objective measurement of comprehensibility through native listeners' shadowing

峯松 信明(東京大学)

MINEMATSU Nobuaki (The University of Tokyo)

山内 豊(創価大学)

YAMAUCHI Yutaka (Soka University)

603室 (Room 603)

- ⑦VEOを活用した対話的な英語授業のリフレクション 研 164
 Dialogic reflective practice on English lessons enhanced by VEO
 吉田 達弘(兵庫教育大学) YOSHIDA Tatsuhiko (Hyogo University of Education)
 西郷 正輝(兵庫教育大学) SAIGO Masateru (Hyogo University of Education)
- ⑧教授言語(日本語・英語)が英語教員の英語の印象に与える影響 研 166
 Effects of language of instruction on perception of EFL instructor's English
 安西 弥生(青山学院大学) ANZAI Yayoi (Aoyama Gakuin University)
- ⑨学習者の自伝から見る学習方略への気づきと実践 研 168
 Awareness of Learning Strategies through Learner's Biography
 森 明智(名古屋外国語大学) MORI Akitomo (Nagoya University of Foreign Studies)
- ⑩英語教員志望者の認識の変化: 現職教員とのプロジェクトを通して 研 170
 How Does Pre-service EFL Teachers' Perception of Teaching English Change Through a Project with In-service Teachers?
 池田 真生子(関西大学) IKEDA Maiko (Kansai University)
 竹内 理(関西大学) TAKEUCHI Osamu (Kansai University)
 今井 裕之(関西大学) IMAI Hiroyuki (Kansai University)
- ⑪批判的思考能力を測定する英語テストの開発: 日本語批判的思考テストと英語熟達度テストとの関連 研.... 172
 The Development of a Critical Thinking English Test: Its Relationships With a Critical Thinking Japanese Test and an English Proficiency Test
 平井 明代(筑波大学) HIRAI Akiyo (University of Tsukuba)
 前田 啓貴(筑波大学) MAEDA Hiroki (University of Tsukuba)
 岡 秀亮(筑波大学) OKA Hideaki (University of Tsukuba)
 加藤 剛史(筑波大学) KATO Takeshi (University of Tsukuba)

公募シンポジウム／Symposia

ライフホール (Life Hall)

公募シンポジウム3／Symposium 3 9:30-11:10

共通教育期間を通じた英語力の維持・向上に向けて 一長期休暇中の英語学習の実態とeラーニング活用の可能性ー 182

Aiming at improving students' English ability throughout the liberal arts education period

青木 信之(広島市立大学)	AOKI Nobuyuki (Hiroshima City University)
鈴木 繁夫(名古屋大学)	SUZUKI Shigeo (Nagoya University)
渡辺 智恵(広島市立大学)	WATANABE Tomoe (Hiroshima City University)
池上 真人(松山大学)	IKEGAMI Masato (Matsuyama University)
松原 緑(名古屋大学)	MATSUBARA Midori (Nagoya University)
榎田 一路(広島大学)	ENOKIDA Kazumichi (Hiroshima University)
寺嶋 健史(松山大学)	TERASHIMA Takeshi (Matsuyama University)
汪 曙東(島根大学)	WANG Shudong (Shimane University)
高橋 英也(岩手県立大学)	TAKAHASHI Hideya (Iwate Prefectural University)
阪上 辰也(広島大学)	SAKAUE Tatsuya (Hiroshima University)
江村 健介(岩手県立大学)	EMURA Kensuke (Iwate Prefectural University)

公募シンポジウム4／Symposium 4 11:15-12:55

日本人英語学習者のパフォーマンス能力の縦断的調査 184

Longitudinal Studies of Speaking and Writing Performance of English Learners in Japan

阿部 真理子(中央大学)	ABE Mariko (Chuo University)
亘理 陽一(静岡大学)	WATARI Yoichi (Shizuoka University)
近藤 悠介(早稲田大学)	KONDO Yusuke (Waseda University)
福田 純也(静岡大学)	FUKUTA Junya (Shizuoka University)
天野 修一(広島大学)	AMANO Shuichi (Hiroshima University)
石井 雄隆(早稲田大学)	ISHII Yutaka (Waseda University)
田村 祐(関西大学)	TAMURA Yu (Kansai University)

第3日：8月9日 Day 3：August 9th

ポスター発表 Poster Presentations

ポスター掲示 9:00-15:00／コアタイム(質疑応答) 11:40-12:50

サイエンスホール (Science Hall)

学習者のライティングに対する母語話者の評価の特徴-日本人大学生の評価の考察を中心に-

On Characteristics of Native Speakers' Comments on Learners' Compositions -Taking Japanese College Students' Comments as the Analysis Objects-

余文龍(京都大学)

YU Wenlong (Kyoto University)

生徒のより主体的な参加を目指して：EFLクラスにおけるKahootの使用

Tap Your Way to Increased Student Engagement: Kahoot in the EFL Classroom

ALIZADEH Mehrasa (大阪大学)

ALIZADEH Mehrasa (Osaka University)

英語授業におけるビデオ映像を活用したアクティブラーニング

A review of active learning methods using video recordings for EFL classes

岡田 靖子(埼玉女子短期大学)

OKADA Yasuko (Saitama Women's Junior College)

澤海 崇文(流通経済大学)

SAWAUMI Takafumi (Ryutsu Keizai University)

いとう たけひこ(和光大学)

ITO Takehiko (Wako University)

遠隔教育のためのテレプレゼンスツール比較：授業における学習者行動のマルチモーダル分析より

Comparison of Different Types of Telepresence Tools: Multimodal Analysis of Students' Nodding in Long-distance Education

冬野 美晴(九州大学)

FUYUNO Miharuru (Kyushu University)

BLANCO CORTES Laura Maria (九州大学) BLANCO CORTES Laura Maria (Kyushu University)

13:50-15:50

パネルディスカッション(ライフホール)

Panel Discussion (Life Hall)

大学入試改革は、高校英語教育での四技能統合を推進するのか? ...44

コーディネーター 柳瀬 陽介(広島大学)

パネリスト 亘理 陽一(静岡大学)

松井 孝志(山口県鴻城高等学校)

寺沢 拓敬(関西学院大学)

このシンポジウムでは、現在提唱されている大学入試改革の妥当性を検討する。亘理は、授業研究の立場から、高校英語教育の「四技能統合」の現状について考察する。松井は、教室の現実を踏まえた上で大学入試改革が教室の現実をとらえきれていないことを指摘する。寺沢は、こうした改革が生じる政治経済的背景をマクロ的な観点から分析する。柳瀬は、標準テストが前提としている次元尺度性と意味のあり方について論じる。現場観察に基づいた立論と、メタ的な理論的考察により、分析的で率直な議論を行う。

15:50-16:10

閉会行事(ライフホール)

Closing Ceremony (Life Hall)

司会 菅井 康祐(大会委員長 LET関西支部長 近畿大学)

挨拶 見上 晃(次年度大会実行委員長 LET関東支部長 拓殖大学)

Coordinator SUGAI Kosuke (Conference Chair, President of LET Kansai Chapter, Kindai University)

Greetings MIKAMI Akira (2019 Conference Chair, President of LET Kanto Chapter, Takushoku University)

会場平面図 Map

5階

ライフホール

講演・(公募)シンポジウム
パネルディスカッション
開会行事・閉会行事・総会

サイエンスホール

受付・賛助会員展示
ポスタープレゼンテーション

501・502・503

口頭発表



6階

601・602・603

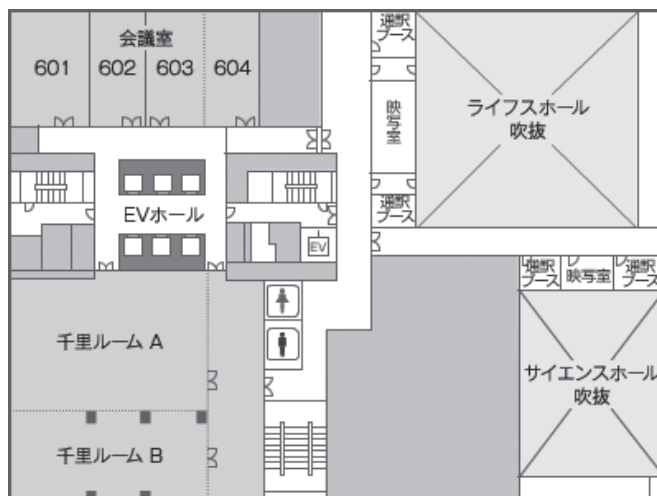
口頭発表

604

賛助会員デモンストレーション

千里ルーム

懇親会



出展賛助会員一覧(50音順・7月25日現在)

Actiontec Electronics, Inc. Japan Office	Actiontec Electronics, Inc. Japan Office
朝日無線	Asahimusen
アルク	ALC PRESS INC.
イースト	EAST
内田洋行	UCHIDA YOKO
英語運用能力評価協会	ELPA
エル・インターフェース	L-Interface
カシオ計算機	CASIO COMPUTER
学研プラス	GAKKEN PLUS
教育測定研究所	The Japan Institute for Educational Measurement, Inc.
桐原書店	KIRIHARA SHOTEN K.K.
金星堂	Kinseido Publishing
Global8	Global Eight Institute
グローバルキャスト G-TELP日本事務局	GlobalCast Inc G-TELP Japan
啓林館	Keirinkan
国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部	CIEE Japan
国際ビジネスコミュニケーション協会	The Institute for International Business Communication
コスモピア	CosmoPier Publishing Company Inc.
三修社	SANSHUSHA Publishing
JVCケンウッド・公共産業システム	JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation
松柏社	Shohakusha Publishing
正興ITソリューション	SEIKO IT SOLUTION
成美堂	SEIBIDO Publishing
チエル	CHleru
東和エンジニアリング	TOWA ENGINEERING CORPORATION
パナソニック システムソリューションズ ジャパン	Panasonic System Solutions Japan
BBCワールド ジャパン	BBC World Japan Limited
北辰映電	HOKUSHIN: EIDEN
リアリーイングリッシュ	Reallyenglish